

製品名: CHSTE ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08795**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	41kDa

抗原情報

遺伝子名	CHST14 D4ST1 UNQ1925/PRO4400
別名	
遺伝子 ID	113189.0
SwissProt ID	Q8NCH0
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

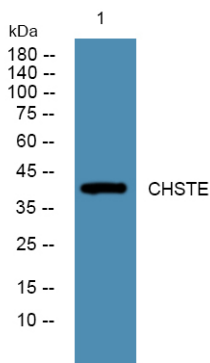
この遺伝子は、HNK-1 ファミリーの硫酸基転移酵素をコードする。コードされるタンパク質は、デルマタン硫酸の N-アセチルガラクトサミン残基の C-4 ヒドロキシル基に硫酸基を転移する。この遺伝子の変異は、母指内反足症候群と関連している。[RefSeq 提

供、2010年3月]、機能: デルマタン硫酸の N-アセチルガラクトサミン (GalNAc) 残基の 4 位への硫酸基転移を触媒する。C-3 ヒドロキシル基が α 結合型イズロン酸 (IdoUA) に置換された β 1,4 結合型 GalNAc の C-4 ヒドロキシル基に硫酸基を転移する。-IdoUA-GalNAc-IdoUA-配列の方が、-GlcUA-GalNAc-GlcUA-配列よりも GalNAc 残基に硫酸基を転移する効率が高い。部分的に脱硫酸化されたデルマタン硫酸を優先的に利用する。GlcUA から IdoUA へのエピマー化直後に、GalNAc への硫酸付加が起こる可能性がある。、類似性: 硫酸基転移酵素 2 ファミリーに属する。、組織特異性: 広く発現している。下垂体、胎盤、子宮、甲状腺で高発現する。、

研究分野

コンドロイチン硫酸の生合成;

画像データ



Jarkat 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、CHSTE ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩